



日本地質学会関東支部主催



共催 (予定) (独) 国立科学博物館

協賛 (予定) (社) 全国地質調査業協会連合会 関東地質調査業協会

地質技術伝承講習会：地質技師長が語る地質工学余話シリーズ

この数十年間、わが国の社会基盤施設(道路・鉄道・空港・都市施設・農業施設・ダム・地すべり施設など)は著しく整備されてきました。これら施設建設の建設にあたり、応用地質学もまた大きな役割を果たしてきました。今、これら応用地質学を支えてきた地質技術者から地質技術伝承の講習会を開催します。CPD: 2単位(CPDH=1)

第4回 「農業の有する多面的機能と地質技術者の役割 (仮題)」

講師 山本 昭夫 (中央開発株式会社 技師長)



美しい棚田(伝統的な農業土木)の風景



〔略歴と講演概要〕

金沢大学大学院理学研究科修了後、1974年農林省に入省、農村振興局・地方農政局のほか、沖縄開発庁沖縄総合事務局、国土庁土地局に勤務。この間に、地下水調査、地下ダム調査、地熱水調査、ダム地質調査、地すべり調査などのハード的な調査とともに表層地質図、土地保全図、地下水マップなどの地図づくり、土地に密着した環境情報の地図化の検討などソフト的な調査に従事する。平成18年より、中央開発株式会社技師長。

平成8年から18年までの間、農林水産省農村振興局で、農業のもつ地すべり防止機能、地下水かん養機能、気候緩和機能などの「農業のもつ多面的機能」の調査に従事した経験を基に、今回は、「農業のもつ多面的機能」が、なぜ、言われるようになったか、など最近の農政の事情と、多面的機能の評価や多面的機能を説明する場で応用地質の果たしている役割を紹介していただく予定である。

記

●日時 2009年4月11日(土) 午後2時から4時

●会場 国立科学博物館 日本館4階大会議室(展示室3階より係りがご案内いたします)

東京都台東区上野公園 7-20 (上野駅公園口から徒歩5分)

●参加費 無料。ただし博物館入館料(一般の場合600円/1日)が必要(常設展示が閲覧可)。大学パートナーシップ会員、科博友の会会員、高校生以下は無料。1年に2回以上来館の場合、一般の方はリピーターズパス(1,000円/1年)がお得です(パスのご案内: <http://www.kahaku.go.jp/membership/index.html>)。

●懇親会 終了後、近くの食堂で講師を囲んでの懇親会を行ないます。懇親会参加費4000円程度(予定)

募集人員:50名 下記の申し込み先まで。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法:ジオ・スクーリングネット(GSネット)にて公開される申し込み欄、若しくは、下記担当幹事のメールアドレスまたは日本地質学会事務局へFAXにて。

申込先 :ジオ・スクーリングネット(GSネット) <http://www.web-gis.jp/~geo/index.php>

関東支部担当幹事 緒方信一(中央開発(株)) ogata@ckcnet.co.jp(兼、問合せ先)

日本地質学会事務局気付 関東支部 FAX:03-5823-1156

予定 第5回 2009年5月10日(日) 午後2時から4時

講師 安間 恵氏

第6回 2009年6月6日(土) 午前10時から12時

講師 大島 洋志氏